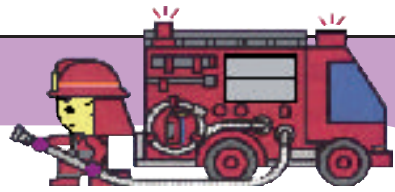


3.地震に備えて！



地震災害から身を守るために

沖縄は大きな地震は発生しないという話をよく耳にしますが、全国で大地震により被災した地域の多くが、「自分の地域は大丈夫だと思っていた。」と話しております。

地震については、様々な研究が行われておりますが、誰もが予期せぬ時、場所において大地震が発生し、尊い命が失われております。

地震による被害を最小限にできるかどうかは、日頃の備えとともに、その状況に応じて、どれだけ冷静な行動をとれるかにかかっています。いざという時のために、地震への適切な対応のポイントを頭に入れておきましょう。

① グラツきたら、まず身の安全の確保！

タンスや食器棚の側は倒れてくる恐れがあり、非常に危険です。座布団やクッションで頭をおおい、テーブルの下等にもぐりましょう。



⑤ 割れたガラスの破片に注意！

地震ではガラス窓が割れて、その破片で大ケガをするケースも多いようです。家から避難するときは、ガラス破片に注意し、小さな子供は抱いて歩きましょう！



② 揺れがおさまったら、すぐに火を消す！！

初期消火のチャンスは3回あります。

- ①地震の揺れ始め
- ②揺れがおさまったとき
- ③出火直後

①のときは無理をせず安全確保を優先しましょう。



⑥ げけ崩れや津波に注意！

崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすい場合があります。これらの場所には近づかないこと。弱い地震であっても揺れを感じたときは、ラジオなどで津波情報をよく確認し、危険性があれば急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。



③ 出口の確保も大切です

揺れの合間をみて、ドアや窓を開け放ちます。大きな地震で、ドアや窓が開かなくなることもあります。特にマンションや団地等の高層住宅では、出口を失ったら避難ができなくなります。



⑦ 家具は動かないように固定！

棚は転倒防止金具で固定し、扉付きの食器棚は簡単に扉が開かないようにフックを付け、ガラス部分には、飛散防止フィルムを貼るなどの予防策を行う。阪神・淡路大震災では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって尊い命を失ったり、大けがをしております。



④ 火災が起きたら素早く消火！！

万一出火したら、まず消火器や三角バケツなどの消火用具でボヤのうちに消し止めましょう。大声でとなり近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。



⑧ 家庭の防災会議

大地震のとき、家族があわてず行動できるように日頃から避難場所、避難経路の確認、家族間の連絡方法やおち会う場所はどこにするかなどを話し合しましょう！



・地震の強さと感じ方

震度	イメージ
0	震度計のみに記録され、人体には揺れを感じない
1	静止している人や、とくに地震に敏感な人が感じる
2	戸や障子がわずかに揺れ、静止している人の多くが感じる
3	家屋や樹木、器の水などが揺れ、歩いても揺れを感じる
4	花瓶などが倒れ、大半の人が揺れを感じる(かなりの恐怖感がある)
5 弱	書籍や食器類などが棚から落ちる(多くの人が身の安全を図ろうとする)
5 強	壁に亀裂が入る、家具や自動販売機などが倒れる(非常な恐怖感を感じる)
6 弱	窓ガラスや壁のタイルが割れ落下する(立っていることが困難)
6 強	山崩れや建物の崩壊がおきる(立っていることができない、はわないと動けない)
7	かなりの建物が傾いたり、倒壊する(揺れが激しく自分の意志で行動できない)

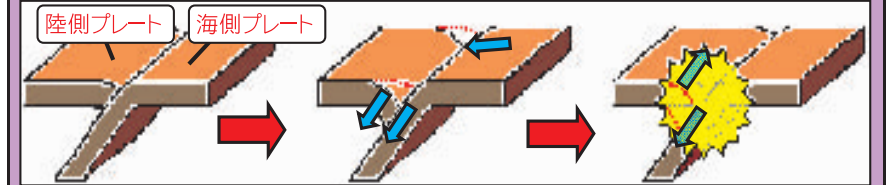
※地震について、規模や発生する時期こそ予測できないものの沖縄県においても大地震が発生する可能性はあります。市民の皆様には日頃からの備えをお願いします！

・地震発生のおしくみ

地震はプレート境界部と活断層で発生します！

■プレート境界部での地震発生のおしくみ(「海溝型」地震)

私たちが生活している地球の表面は、およそ10枚~20枚ほどのプレート(岩盤)におおわれています。日本は4つのプレートが折り重なる場所に位置しており、このプレートは長い年月をかけて少しずつ移動しており、大きな地震の原因の1つとされております。



海側プレートが陸側プレートの下に少しずつもぐり込む

陸側プレートの先端が、海側プレートに引っぱり込まれ元にもどろうとする力が蓄積される

陸側プレートの元にもどろうとする力が、海側プレートの引っぱり込む力を超えたときに急に陸側プレートがはね上がり、地震が発生する

沖縄本島近海では琉球海溝を境に北西側にユーラシアプレート、南東側にフィリピン海プレートが位置しております。フィリピン海プレートはユーラシアプレートの下へ1年あたり数cmの速度で沈み込んでいっているといわれております。

■活断層による地震発生のおしくみ

活断層とは、一般に新しい地質時代(第四世紀、約180万年前以降)に活動した断層をいい、地震を引き起こす可能性のある活断層は、繰り返し活動することが知られております。



活断層をささむ両側から圧縮する力が加わる

活断層の部分が常時圧縮されることによりひずみが蓄積される

ひずみが限界を超えた時、活断層の部分が急に破壊し、ずれが生じ地震が発生する

・緊急地震速報を活用しよう！

気象庁では、地震による強い揺れを感じる前にお知らせする緊急地震速報を平成19年10月1日より運用開始しております。テレビやラジオで緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、「周囲の状況に応じて、慌てずまず身の安全を確保する」ことが基本です。

家では	運転中は	施設等の建物の中では
<p>あっ、緊急地震速報だ！</p>	<p>× 急ブレーキ</p>	<p>× とにかく外へ！</p>
<p>頭を保護し、丈夫な机の下などにかくれる。 慌てて外へ飛び出さない！</p>	<p>○ ハザードランプの点灯</p> <p>前の車に何かあったのかな？注意しよう！</p> <p>・慌ててスピードを落とさない。 ・ハザードランプを点けて、緩やかに減速！</p>	<p>○ そのままの姿勢でお待ち下さい！</p> <p>・慌てて出口や階段に殺到しない。 ・照明などの下から離れる</p>